

平成 28 年度 文部科学省

「保育分野における中核的専門人材養成プログラム開発事業」

モデルカリキュラム検証研修

実施要綱

この研修は、文部科学省採択事業にて「保育分野における中核的専門人材養成」を目的とし実施されます。

平成 23 年度より、文部科学省では、中核的専門人材養成のための新たな学習システムの基盤を整備する目的で、「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」の委託事業が始まりました。

その一環として、「保育分野の中核的人材養成」について、愛知県現任保育士研修運営協議会が平成 27 年度に採択され、中核的人材養成のための「研修ガイドライン」を作成しました。

研修ガイドラインにおいて規定した「保育分野の中核的人材」とは、職務上の職種「園長」「主任」ではなく、「保育専門職として、各階層（初任・5 年目・育休明け）においての中心的存在、また個別の保育課題（障害児保育・乳児保育）において中心的存在である保育士」を指します。

本事業に関しては、平成 28 年度も継続して文部科学省に採択されました。そして今回は、昨年度作成した「研修ガイドライン」を検証するための研修（検証研修）を実施することとなりました。

「保育分野の中核的人材」の意味や本研修の意義についてのご理解、ご了承の上、本「検証研修」へ是非ともご参加いただきたく、お願いいたします。

申込方法：個人にて「所定申込用紙」をご使用し、郵送、FAX、メールいずれかにてお申し込み下さい。
「所定申込用紙」はホームページからもダウンロードしていただけます。

<http://www.nagoyacollege.ac.jp/gennin/>

※メールにてお申し込みの際は必ず件名を【モデルカリキュラム検証研修申込】としてください。

締め切り：10月8日（土）必着

申込先： 郵 送：〒470-1193 愛知県豊明市栄町武侍48番地
「愛知県現任保育士研修運営協議会」宛て

F A X：0562-97-3674

E-mail：gennin@nagoyacollege.ac.jp

問い合わせ先：TEL：0562-97-3674 不在の場合はメールにてご連絡ください。

一般社団法人 愛知県現任保育士研修運営協議会

表



平成 28 年度 文部科学省委託事業 「保育分野における中核的専門人材養成プログラム開発」 事業
初任保育士モデルカリキュラム検証研修 実施要綱

目 的：本研修では、参加者が実際に行っている毎日の保育を基に、子ども生活や姿、参加者の保育技術や子どもへの関わり方について、グループワークを通して振り返ります。参加者間の交流を深めるとともに、参加者個人の気持ちをリフレッシュし、日頃の不安や悩みを一緒に軽減・解消する機会としましょう。

受講対象者：保育士経験年数（概ね）1～3年目

定 員：40名（定員に限りがありますので、申し込み多数の場合調整をさせていただきます）

開催期間：10月22日（土）・11月5日（土） 2日間

開講時間：9：20～16：30

研修会場：東別院会館 2階「椿」 名古屋市中区橋2-8-45 電 話 052-331-9576

地下鉄名城線「東別院駅」4番出口より、西に徒歩約5分

※駐車場はございますが、利用不可の日があるため念のため公共交通機関にてお越してください。

※昼食はご持参いただくか、近隣店舗をご利用ください。

内 容：

	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目
	90分間	90分間	90分間	90分間
1日目 10/22 (土)	保育技術（身体表現） 「初めての運動会—振り返りから学ぶ—」 河野美貴（千代田保育園）		保育技術（造形表現） 「子どもと作ろう保育環境」 藤田雅也（静岡県立大学短期大学部）	
	子ども理解 「ことばで解る子どものステキ・私のステキ」 勝浦真仁（桜花学園大学）		悩みの共有と対応 「かたろう、つながろう」 勝浦真仁（桜花学園大学）	

持ち物：出席簿に押印頂きますので印鑑をご持参ください（シャチハタ可）

グループワークで使用するため、下記の資料を事前に準備ください。（各1部ずつ）

1日目（1・2限目）「初めての運動会—振り返りから学ぶ—」

- ・・・運動会で行った体そう表現の振り返りをするので、運動会の立案・プログラム等本番に向けて準備した資料を持参ください。

1日目（3・4限目）「子どもと作ろう保育環境」

- ・・・担当保育室の壁面の写真を撮り、A4サイズにカラーでプリントアウト（コピー用紙で可）したものを持参ください。

※壁面のない場合は、直近の行事で制作したものを写真に撮り上記のように準備したものを持参ください。